

2024年度夏季シンポジウム

こども虐待のない まちづくり

家族ごと大事にする 包括的サポートとは？

講演

八木 安理子 (同志社大学心理学部 客員教授)

「こども虐待のないまちづくり 一要対協の役割や市町村の工夫ー」

指定討論

藤林 武史 (西日本こども研修センターあかし センター長)

司会： **高橋 道子・上別府 圭子**

(子どもと家族のQOL研究センター)

日時

2024. **8.3** (土) 20:00 ▶ 21:30

会場

Zoom オンライン開催 (予約制)



一般社団法人 子どもと家族のQOL研究センター
QOL Research Center for Children and Family

開催概要

子どもと家族のQOL研究センターでは、子どもの虐待（マルトリートメント）の防止や支援について、毎年シンポジウムを開催してまいりました。「子育てに困難を抱える家族への包括的な支援体制の強化」を目的として改正された児童福祉法が、本年4月より施行されました。今回のシンポジウムは、この改正が目指す「家族ごと大事にする包括的サポート」を実際に行うための工夫などについて、最前線でご活躍の先生方にお話をさせていただきます。「虐待のないまち」を目指して、皆さまと活発な意見を交わしていきたいと存じます。

登壇者

講演者

八木 安理子 (同志社大学心理学部 客員教授)



公認心理師・臨床心理士・特別支援教育士。大阪府中央児童相談所の心理判定や大阪市家庭児童相談室の相談員等で非常勤として勤務した後、1993年から枚方市に入職。その後、子ども総合相談センター（子ども家庭総合支援拠点）所長、こども青少年部次長、子どもの育ち見守りセンター長、等を経て、2022年4月より現職。他に、NPO法人児童虐待防止協会執行理事、日本子ども虐待防止学会理事。主な著書『児童虐待における公認心理師の活動』（共著、金剛出版、2021）、『市町村における児童虐待防止と支援のあり方』（共著、岩崎学術出版、2022）

指定討論者

藤林 武史 (西日本こども研修センターあかし センター長)



精神科医。医療機関、精神保健福祉センターでの勤務経験を経て、2003年より福岡市こども総合相談センター（福岡市児童相談所）所長に就任。18年間の勤務ののち、2021年4月より西日本こども研修センターに勤務、2022年度より現職。他に、日本子ども虐待防止学会理事、こども家庭審議会児童虐待防止対策部会委員、早稲田大学社会的養育研究所招聘研究員など。主な著書『児童相談所改革と協働の道のり』（編著、明石書店、2017）、『日本の児童相談所と子ども』（共著、明石書店、2022）

司会

高橋 道子



当法人理事。臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士。学生相談、大学病院精神科心理士を経て、現在さいたま市湯澤医院臨床心理士、青山学院大学非常勤講師。

司会

上別府 圭子



当法人代表理事。看護師、保健師。東京大学大学院教授を経て、2022年4月より国際医療福祉大学大学院家族看護学教授。著書に、『虐待を防ぐ保健師訪問』（監修、杏林書院、2017）など。

参加登録

対象 : 保健師・助産師・看護師、心理職、医師、学校関係者、保育士、ソーシャルワーカー、弁護士、警察関係者、子育て支援に関わる職業やボランティアの方

定員 : 100名 (先着)

登録期間 : 2024年7月10日 (水) ~ 7月31日 (水) 17時 (予約制)

登録方法 : 右記QRコードからお申込みの上、参加費をお振込みください

参加費 : 2,000円 (返金不可)

参加費振込先 : 三菱UFJ銀行 本郷支店 普通預金 0309933

一般社団法人子どもと家族のQOL研究センター 代表理事 上別府圭子

※申込みおよび参加費の振込をもって参加登録とさせていただきます

※ご寄付も歓迎します。虐待予防の啓発事業に活用させていただきます

※登録確認後、8月1日 (木) 17時頃にZoom用URLをお知らせします

